２０２５．５．１

５月　ようちえんだより

幼保連携型認定こども園
西神戸 YMCA 幼稚園

新学期の子どもたちは、張り切っているような、不安そうな、どこか居心地の悪そうな様子です。

好きな遊びやしたいことがあるとイキイキと動き、したくないことが目の前にあるとたちまち不機嫌になります。居心地の悪さを我慢することが出来ずに泣いたり、怒ったり、友だちに当たったりで、トラブルに発展することもあります。「５月病」という言葉があるように新学期は新しい環境に適応しにくく心身が不調になりがちです。この時期は“乗り越える”しかありません。私たちは毎年訪れる新学期の子どもたちのしんどさには、「共感」することを心がけています。「これしたい。」「うん、そうしよう。」「これ出して。」「うん。いいよ。」「イヤだ。」「そうね。イヤだね。」「行きたくない」「行きたくたくないよねぇ。」「キライ」「そっか、キライなのね。」と同調します。子どもたちは一生懸命に「快」を求め「不快」を取り除こうとします。それは「安心したいから」です。

初めての人や場所には不快感を顕わにする子どもたちです。また子どもたちが不快感を表す言葉は限られていて「イヤ」「キライ」がほとんどです。その他「行きたくない」「やりたくない」“不満”のオンパレードです。その時に「何がイヤなの？」「誰がキライなの？」「何て言われたの？」「何をされたの？」とお母さんも不安ですから原因を追究しようとしがちです。しかし、その前にやっと吐き出した「不満」の言葉に同調し、受け止め、共感を言葉にし、暴れたり寝転んだりする時は身体を束縛しないで、体のどこかの部分だけ密着し体温を伝えながら安心させることを大切に対応してみてください。環境の変化に敏感な子どもたちは様々な体験を何度も重ねて「必ずおうちに帰れる」「ここは（幼稚園・保育室・ホール・体育館）楽しいことが出来る場所」「この子と一緒に遊んだら楽しかった」「順番が回ってきたら、したいことが出来た」そして「この人は自分を大切に想ってくれる。」＝“だから大丈夫”という実感を身に着けていきます。その体験は一度ではなく何度も重ねて実感することもあります。そして、体験から得た実感が不安をなくし、安心してやっと自分らしく生活できるようになっていきます。頭で理解することは難しいのです。親が変わってあげたい気持ちにもなるとは思いますが、お子さんのこの時期にしかできない“苦難を乗り越える体験”を温かく見守っていただきたいと思います。

卒園する時、いつも保護者の方が口にするのは「入園した頃は」「進級した当初は」という話です。その次に続く言葉は「あんなに心配した頃が懐かしい」です。まさに「今」の子どものがんばる姿をしっかり見つめてください。しかし心配なことも多いと思いますので教えてください。

「ともに」考えていきましょう。保護者の皆様も子ども同様にお疲れが出る頃です。ゴールデンウィークは心と身体の休養に必要な休日です。ゆったりとお過ごしください。

5 月の月主題は「感じる」です。幼稚園では十分に子どもたちの遊びを支えて子どもたちが楽しいと「感じる」5 月になるように守り導きます。参観も始まりますので保護者の皆様も実際に幼稚園の生活を観て「感じて」ください。週１回の２歳児保育（親子通園）『こひつじクラブ』も始まります！引き続き子どもたちへの保護者の皆様の温かいお見守りをどうぞよろしくお願い致します。

【年主題】『ともに』

【年主題聖句】「わたしはあなたと共にいる。」（イザヤ書４３章５節）

５月主題　「感じる」

聖　句　「野の花がどのように育つのか、注意して見なさい。」（マタイによる福音書６章２８節）